平成２６年度 森林・林業技術交流発表会

東北森林管理局では、管内東北５県の民有林と国有林が一体となった森林・林業等の技術の普及・向上及び関係者の技術交流の推進への寄与を目的として、森林・林業等に係る技術開発や地域において実践している林業活性化への取組などの情報提供や意見交換を行うため「森林・林業技術交流発表会」を開催します。

福寿草

日　時

（１日目）平成２７年２月５日（木）１０：１５～１７：１５

（２日目）平成２７年２月６日（金）　８：４５～１５：２０

会　場

秋田市中通５－９－１６

東北森林管理局　２階　大会議室

主　催　東北森林管理局

後　援　青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県

日本森林技術協会

日本森林林業振興会秋田支部・青森支部

東北森林管理局林政記者クラブ

平成２６年度森林・林業技術交流発表会プログラム

１日目（2月5日木曜日）　　※発表部門　技：森林技術、　ふ：森林ふれあい、　保：森林保全、　高：高等学校

発表番号	発表時間	発表部門	発表課題名	発表者 所属	職名	氏名	共同研究者
	１０：１５～１０：３０		【 開 会 】				
1	１０：３０～１０：４５	保	白神山地世界遺産地域周辺におけるセンサーカメラによるニホンジカ監視について	津軽白神森林生態系保全センター	一般職員	久保　翔太郎	鈴木 修 阿部 耕士（藤里セ）
2	１０：４５～１１：００	技	荒砥沢地すべり地におけるＵＡＶの活用について	宮城北部森林管理署 栗原治山事業所	治山技術官	佐々木　秀隆	山村 充（国土防砂技術株式会社技術本部試験研究所　課長補佐）
3	１１：００～１１：１５	技	GoogleEarth＋計画図による森林調査ツールと施業集約化支援への展開	青森県上北地域県民局地域農林水産部林業振興課	主幹	猪狩　尚	
4	１１：１５～１１：３０	ふ	高校生との協同によるきのこ消費拡大の取組み	山形県最上総合支庁産業経済部森林整備課	課長補佐	高橋　幸治	菅井 泰之
5	１１：３０～１１：４５	技	林業における若者の就労拡大について	東北森林管理局　森林整備課 資源活用課	一般職員 供給計画係長	関岡　春香 塚田　夢人	
6	１１：４５～１２：００	技	防鹿柵によるニホンジカ防除の取組 ～鮎川森林事務所及び世田米森林事務所における事例紹介	宮城北部森林管理署 三陸中部森林管理署	森林官 森林官	小林　あずみ 安藤　菜穂	
	１２：００～１３：００		【 昼 休 み 】				
7	１３：００～１３：１５	技	日本海側の豪雪地帯におけるコンテナ苗植栽箇所の現況について	由利森林管理署	業務グループ一般職員	加藤　洋介	佐藤 裕美　木村 博臣　野呂　丈
8	１３：１５～１３：３０	ふ	地域の特色を活かした体系的な森林環境教育の取り組み	津軽森林管理署金木支署 森林技術・支援センター	業務グループ一般職員 森林技術専門官	佐々木　尚輝 岡浦　貴富	
9	１３：３０～１３：４５	技	低コスト造林に向けた天然更新の一考察	津軽森林管理署	業務グループ一般職員	火石　恵梨	小島 沙織　梶本　愛
10	１３：４５～１４：００	ふ	たけのこの出荷制限解除に向けた取組みについて	宮城県大河原地方振興事務所林業振興部林業振興班	技術主査	千葉　朋彦	
11	１４：００～１４：１５	技	製品生産・販売事業における販売価格向上の取組	三八上北森林管理署	業務グループ一般職員	前田　尋斗	早川 健広
	１４：１５～１４：３０		【 休 憩 】				
12	１４：３０～１４：４５	技	コンテナ苗による低コスト造林の取組みについて	仙台森林管理署	森林官	中島　彩夏	白川 省吾　今村 桃子
13	１４：４５～１５：００	高	三本木夢と生命の森での樹木に関する研究	青森県立三本木高等学校	SSHコース２年	大久保　詠一郎 沼尾　拓海 山田　直央 宮古　胤哉	

14	１５：００～１５：１５	技	トンバッグとフォワーダを用いた簡易な未利用資源材収集システムの開発	米代東部森林管理署	森林事務所一般職員	村松　義昭	畠山　智
15	１５：１５～１５：３０	高	植物を用いた環境浄化に関する研究	岩手県立盛岡農業高等学校	環境科学科２年	武田　晴樹	紺野 大河　鹿内 優人　髙八卦 虎裕 田中 拓人　箱石 柊真　半田　陸 山蔭 正樹　山下 一稀
16	１５：３０～１５：４５	技	公益的機能維持増進協定による事業の実施について	米代東部森林管理署 上小阿仁支署	総括森林整備官	九嶋　勉	

１５：４５～１６：００　　【　休　憩　】

17	１６：００～１６：１５	技	スギ食害跡地におけるヒバコンテナ苗の改植の実施について	青森森林管理署	業務グループ一般職員	鈴木　研介	金澤 紀宏　山口 恭平
18	１６：１５～１６：３０	保	クマ剥ぎ被害防除への取組 ー対策とコスト縮減に向けてー	独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター東北北海道整備局水源林業務課	保護係主任 課長補佐	能登　忠博 松村　伸治	
19	１６：３０～１６：４５	ふ	ＧＳＳ（グリーン・サポート・スタッフ）の取組みについて	置賜森林管理署	業務グループ一般職員	小林　明仁	
20	１６：４５～１７：００	技	下北地域産素材の行方	下北森林管理署	総務グループ一般職員	武田　紗織	天野 拓郎　松橋 良之　西村　祐
21	１７：００～１７：１５	技	国産材を使用した型枠合板の普及に向けた取り組み	山形森林管理署	治山グループ一般職員	村上　和子	阿部 隆治

１８：００～２０：００　　【　意　見　交　換　会　】

２日目（２月６日金曜日）

発表		発表	発表課題名	発表者			
番号	時間	部門		所属	職名	氏名	共同研究者
22	８：４５～　９：００	技	バイオマス燃料資源調査結果報告	米代西部森林管理署	業務グループ一般職員	遠田　裕道	細田 恭幸
23	９：００～　９：１５	技	『銅山川地すべり』における「集水井工」施工に関する報告　～シラス地帯での集水井の井壁保護計画と施工結果～	山形森林管理署最上支署 大蔵治山事業所	治山技術官	武藤　哲平	内藤 祥志　鈴木　亘 （国土防災技術株式会社山形支店）
24	９：１５～　９：３０	ふ	「盛岡まちかど森林教室」の取組	盛岡森林管理署	森林事務所一般職員 総務グループ一般職員	河合　秀樹 荒川　もも	川口　理
25	９：３０～　９：４５	高	「社寺林が育む生物、生物が守る鎮守の森」	青森県立五所川原農林高等学校	森林科学科２年	對島　祐也	菊地 真哉　今　聖夜
26	９：４５～１０：００	ふ	「遊々の森」における環境保全活動と森林学習の取り組み	岩手北部森林管理署	森林官	下條　智人	塩谷 智也　小西 光次

27	１０：００～１０：１５	技	大径材におけるハーベスタの適応限界	岩手大学	技術職員	麻生　臣太郎	村井 凜太郎　立川 史郎　佐々木 一也 菊地 智久　菅原 大輔　髙橋 健保 澤口 勇雄
	１０：１５～１０：３０		【　休　憩　】				
28	１０：３０～１０：４５	高	養蜂による森林資源の有効活用を目指して	岩手県立盛岡農業高等学校	環境科学科２年	勝又　心 立柳　綾乃	澤本 武尚　田屋 湧太　中村 和生 晴山 和正　田中 希実
29	１０：４５～１１：００	技	林業専用道新設工事における軟弱な土質に対する安定処理の実施と検証について	岩手南部森林管理署	業務グループ一般職員	畑田　宏	
30	１１：００～１１：１５	技	初心者でも研げるソーチェーン目立て器の考案について	林材業災害防止協会秋田支部	緑の雇用基本研修安全監督指導員	成田　満	
31	１１：１５～１１：３０	高	オール秋田で取り組むオンリーワンのきのこづくりへの挑戦（３年目）	秋田県立大曲農業高等学校	農業科学科３年	立原　昂平 簗　芳洋	後藤　滉　加藤 慎也　照内 之尋
32	１１：３０～１１：４５	保	迫りくるシカ被害に備えて	三陸北部森林管理署	森林官	菊池　耕太	
33	１１：４５～１２：００	技	横手市森林整備計画の樹立に向けた取り組みについて ～平鹿地域におけるフォレスター活動～	秋田県平鹿地域振興局農林部森づくり推進課林業振興班	主査	小林　勝	
	１２：００～１３：００		【　昼　休　み　】				
34	１３：００～１３：１５	ふ	世界自然遺産白神山地における英語ガイドツアーの取組について	東北森林管理局　技術普及課	緑の普及係長 企画係長	熊谷　有理 根岸　由佳	
35	１３：１５～１３：３０	技	低密度植栽試験　ー初年度の取り組みー	森林技術・支援センター	一般職員	沼田　一輝	小島 沙織（津軽署）　市原 良浩（三陸北部署）　木下 知久（遠野支署） 森田 武士（最上支署）
36	１３：３０～１３：４５	保	ニセアカシアの種子生産および休眠／非休眠種子の生産比率の違いとそれらに影響する要因　～河畔林と海岸マツ林に着目して	秋田県立大学大学院	生物資源科学研究科２年	岡本　健太	松下 通也　井上 みずき（県立大学） Tamara Fitters（Radboud University） 高田 克彦　蒔田 明史（県立大学）
37	１３：４５～１４：００	技	雄物川流域における市町村森林整備計画の策定支援 ～民有林と国有林のフォレスター等の連携～	秋田森林管理署	地域林政調整官	三浦　雄幸	伊東 弘至

■ **特別講演**

時　間	発表課題名	発表者			
		所　属	職　名	氏　名	共同研究者
１４：０５～１５：００	「地域資源を活かした木のものづくり」	秋田県立大学 木材高度加工研究所	准教授	足立　幸司	

● **講　評**　１５：０５～１５：２０

● **閉　会**　１５：２０